

市町村合併をテー

白浜地区

(9月5日)

現在光町が合併を考えている、成田空港南側の地域、いわゆる空港の騒音地区でまとまり、総合的な施策を展開して行こうという考え方や、合併することにより、今まで境界になっていた栗山川で一体的な事業が可能になることから、町の発展につながるという考えについて、みなさんから特に懸念する声は聞かれず、むしろ実現するように頑張つて欲しいという意見が多くありました。また、町民も気運を盛り上げたいので、いろいろな情報をこまめに流して欲しいという声も聞かれました。



東陽地区

(9月6日)

白浜地区と同じく、騒音による合併では負の集まりで利益を得ている成田市が

りましたが、騒音地区の集まりの合併では負の集まりで利益を得ている成田市が

人口が少ないのでないか、また、農協や一部事務組合

い合併をしてほしいとの要望もありました。

て空港周辺一円の大きな枠組みでの合併推進、また大きな枠組みができなくても

入っていないので、成田市との合併も検討すべきという意見や、情報・物流・人の拠点である成田空港を視野に入れて考えるべきといふ意見も出されました。

この他、県の指導はあるのか、八匝地区の関係をどうのようを考えているか、東陽病院など一部事務組合の関係はどうなるのか、この構想の中で合併特例法の期限が切れた後はどうなるか、などの質問がありました。



日吉地区

(9月10日)

この他、現在光町では騒音関連の補助をどのくらい受けているか、将来を考え

がある中、どの地区においても、一人ひとりが一生懸命に自分たちの町の将来について考えている真剣な姿がうかがえました。



南条地区

(9月9日)

成田空港南側の地域だけでの合併は、県が示している規模に比較して合併後の

関係はどうなってしまうのか、住民アンケートの予定は無いか、匝瑳郡市での過去の歴史的な流れや、今までの交流などをもつと考慮しなくて良いのか、などの質問が出されました。

残暑厳しい中、夜分にもかかわらず大勢のみなさんの参加をいただき、質問や貴重な意見等が活発に出され、それぞれ色々な考え方がある中、どの地区においても、一人ひとりが一生懸命に自分たちの町の将来について考えている真剣な姿がうかがえました。

その経験から町民の生活に密着した細部にわたるところまで十分調整をして、良



栗山川ふれあい橋架橋工事